立憲民主党
参議院議員　吉田忠智

ただとも通信 No.64

2025年11月21日発行

発行：参議院議員
吉田忠智事務所

暮らしを支える交通と防災を前へ ―
11/20 国交委員会報告

答弁する金子国土交通大臣

11月20日、参議院国土交通委員会で質疑に立ちました。まず、大分市佐賀関地区で発生した大規模火災に触れ、亡くなられた方への哀悼の意と、被災された皆さまへのお見舞いを申し上げました。冷え込みが厳しくなる中、避難所では暖房や給湯の確保、健康管理など、生活環境の整備が急務です。消防・警察・自衛隊、医療関係者、地域の皆さんが昼夜を問わず対応されており、その献身に心から敬意を表します。

今回の火災を踏まえ、木造住宅が密集する地域で延焼を防ぐための道路整備や公園整備、また空き家が火災の拡大要因とならないよう解体促進・管理強化を進める必要があります。国交省からは、大分県・大分市と連携し、専門家を派遣して現地調査を進めているとの報告があり、今後の具体的な対策を求めました。

続いて、地域の安全と暮らしに関わる課題について質問しました。バスやタクシーの運転手不足が深刻化し、「買い物に行く足がない」「通院が不安」という声を大分県内でも多く伺います。交通空白を埋めるための財政支援や、AI活用の乗り合いサービスなど新しい取り組みの強化を政府に求めました。

災害現場を支える地方整備局の体制については、人員・資機材の増強が不可欠です。近年の豪雨災害でも、整備局の迅速なテックフォース派遣が被災地の大きな支えとなりました。引き続き強化を求めました。

また、建設産業やトラック運送、整備士など「地域を支える仕事」で人手不足が続いています。若い人が働き続けられる環境づくり−賃金の底上げ、長時間労働の是正、働く魅力を伝える取り組み−の必要性を訴えました。

さらに、中九州横断道路・東九州自動車道・中津日田道路といった高速道路ネットワーク、将来の新幹線整備など、東九州全体の交通基盤の強化についても、地元の声を踏まえて取り上げました。

地域で交わした一つひとつの声が、政策の出発点です。皆さまから寄せられる不安や要望に丁寧に向き合い、安心して暮らせる大分、そして九州をつくるため、これからも現場と国会をつなぐ役割を全力で果たしてまいります。

大分事務所：〒870-0045 大分県大分市城崎町2-2-19 城崎法務ビル305号室
TEL：097-573-8527　FAX:097-573-8528
国会事務所：〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1　参議院議員会館206号室
TEL:03-6550-0206　FAX:03-6551-0206

SNS👉